

令和2年度  
普及指導年度計画

令和2年4月

柏崎農業普及指導センター  
(柏崎地域振興局農業振興部)



# 目 次

第1	推進方針	
1	柏崎・刈羽地域の農業ビジョン	1
2	令和2年度推進方針	2
第2	課題別活動方針と指導計画	
1	農業を担う人材の確保・育成（人づくり）	3
	(1) 人材の確保・育成	
	(2) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	
2	担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）	5
	(1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立	
	(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大	
	(3) 収益性の高い畜産経営の育成	
	(4) 経営の多角化	
	(5) 県産農産物のブランド力の向上	
	(6) 環境と調和した農業生産と安全・安心な農産物の提供	
3	中山間地域等の農業の維持（仕組みづくり）	9
	(1) 地域資源を活かした中山間地域等の振興と活性化	
	(2) 野生鳥獣による農作物の被害防止	
第3	重点課題	10
第4	課題体系及び指導対象	16
第5	活動体制及び業務分担表	17
第6	企画調整業務計画	20
第7	普及員が実施する調査研究の課題一覧表	21
第8	新任普及員が実施する課題解決活動の課題一覧表	21
第9	普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる実証ほ一覧	21



# 第1 推進方針（総論）

## 1 柏崎・刈羽地域の農業ビジョン

～次世代につなげる活気ある地域農業の確立～

柏崎・刈羽地域の農業が夢や希望を持てる職業として若者から選択され、地域の基幹産業に成長する姿を目指します。そのため、①農地の集積・集約化と法人化等により大規模経営体を中心となって農地を維持するとともに、②実需者ニーズに応じた多様な品揃えと地域ブランド米の確立による生産者所得の最大化、③ほ場整備を契機とした園芸導入と機械化一貫体系の確立による産地育成、④多様な人材の役割発揮やICT活用等により中山間地域の農業が維持できる仕組づくりに取り組みます。

### 【推進課題】

<p><b>【農業を担う人材の確保・育成（人づくり）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就農者の確保・育成</li> <li>○農地集積・集約化等による安定した地域営農の確立</li> </ul> <p><b>【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○柏崎・刈羽米の品質確保</li> <li>○園芸の販売額1億円産地に向けた生産拡大</li> <li>○法人経営力の向上</li> <li>○国際的に通用するGAPの推進</li> </ul> <p><b>【中山間地域等の農業の維持（仕組みづくり）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地に若者が定住できる営農体制の確立</li> </ul>
--

### 【農業振興に係る主要目標】

目 標 項 目	基準年 (H28年)	現状 (R1年)	年度目標 (R2年)
1 人づくり			
・新規就農・就業者数	9人/年	16人/年	15人/年
・新規就農者受入体制整備地区数	—	1	1
・農業法人数	54 法人	64法人	66 法人
2 ものづくり			
・コシヒカリ1等級比率	84.7 %	9.4 %	90 %
・葉月みのり			
収量510kg/10a達成農家割合	—	44 %	80 %
1等級比率	—	15.5 %	90 %
・園芸重点8品目作付面積	20.8 ha	40.6ha	62 ha
・新規園芸導入・拡大稲作経営体数	4 経営体	12経営体	12経営体
・収益向上強化法人（7経営体）経常利益向上数	—	3 法人/年	7 法人/年
・国際水準GAP等取組数	3	4	5
3 仕組みづくり			
・就農希望者と集落との連携数	—	1	1

## 2 令和2年度推進方針

農業を担う人材の確保・育成、担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開、中山間地域等の農業の維持の3つの基本課題に沿って担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開と中山間地域農業の維持に向け関係機関・団体と連携し活動を展開します。

### 【令和2年度の重点課題】

#### 〔全県共通課題〕

「園芸の販売額1億円産地を育成するための計画策定・実践」～水田ほ場における機械化一貫体系の導入による大規模産地の育成～

#### 〔地域重点課題〕

「農地集積・集約化や法人間連携等による安定した地域農業構造の確立」～人・農地プランの実質化～

「柏崎・刈羽米の品質確保」～異常気象による新潟米の被害を軽減するための技術対策の徹底～

### 農業を担う人材の確保・育成 (人づくり)

(推進事項等)

- 1 人材の確保・育成
  - ・新規就農・就業に向けた相談活動
  - ・認定新規就農者の就農計画実践
  - ・ニュー農業塾開催による技術習得
  - ・4Hクラブ活動による若手との交流
  - ・農福連携に向けた農業者への啓発

- 2 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築
  - ・人・農地プラン実質化に向けた体制構築
  - ・事業活用による農地の集積・集約化
  - ・地域の受け皿となる法人の設立
  - ・法人間連携に向けた合意形成

### 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開 (ものづくり)

- 1 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立
  - ・気象変動に対応した柏崎・刈羽米の高品質安定生産
  - ・葉みりの生産拡大と高品質安定生産
  - ・業務用米の多収穫・低コスト生産
  - ・中山間地域のスマート農業技術の実装
  - ・大豆の安定生産

- 2 需要に对应えられる園芸生産の拡大
  - ・重点園芸品目えだまめ、たまねぎ、越後姫、カリフラワーの単収・品質向上
  - ・機械化一貫体系導入によるえだまめ、たまねぎの1億円産地づくり

- 3 収益性の高い畜産経営の育成
  - ・飼養管理改善等による生産性向上
  - ・経営の多角化
  - ・専門家を活用した農業法人の経営発展
  - ・県産農産物のブランド力強化
  - ・地場産農産物の品揃え確保と販売促進
  - 6 環境と調和した農業生産と安全・安心な農産物の提供
    - ・国際的に通用するGAP等の導入

### 中山間地域等の農業の維持 (仕組みづくり)

- 1 地域資源を活かした中山間地域等の振興と活性化
  - ・就農希望者と集落連携による営農体制の構築

- 2 野生鳥獣による農作物被害防止に
  - ・集落等と連携した鳥獣被害防止に向けた取組の推進

## 第2 課題別活動方針と指導計画

### 1 農業を担う人材の確保・育成（人づくり）

#### (1) 人材の確保・育成

- ・ 関係機関・団体と連携し、就農候補者や就業希望者等に対して情報提供及び就農相談活動を行い、新規就農者、新規参入者、法人等就業者等の新たな担い手を確保する。
- ・ ニュー農業塾、新規就農者交流会等により、新規就農・就業者等若手農業者の生産及び経営管理技術の向上を図り、青年等就農計画の実践や着実な定着を支援する。
- ・ 4Hクラブへの活動支援を通じた若手農業者の仲間作りや女性クラブ員の確保により、地域リーダーの育成につながる活動や社会参画への取り組みを支援する。
- ・ 人材を必要とする経営体に農福連携等に関する情報提供等を実施し、理解促進と多様な人材の受入拡大を図る。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 新規就農者の確保・育成						にいがた農業「3K」人づくり事業
(ア) 就農啓発及び就農・就業相談活動の実施	新規就農候補者リスト掲載者 新規就農・就業意向者	新規就農者・就業者数	15 (16)	中野	2月：市村等へ調査	
イ 次世代の経営者育成						にいがた農業「3K」人づくり事業
(イ) 関係機関と連携した就農計画の実践支援	認定新規就農者（8人）	年度目標達成者数	8 (3)	中野	3月：対象者への聞き取り調査	
(イ) 生産及び経営管理技術の習得支援	ニュー農業塾（稲作コース）受講生（3人）	講座修了者数	3 (7)	土田	3月：出席率確認	
(イ) プロジェクト活動の実施	Yes農クラブ	プロジェクト活動実施数	1 (1)	佐久間	2月：対象者への聞き取り調査	
ウ 多様な人材の育成						農福連携普及啓発推進事業
(ウ) 農福連携の受入促進	雇用のある経営体・雇用意向のある経営体	農福連携に理解のある経営体	15 (-)	渡部	2月：対象者に確認	

(2) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築

- ・ 人・農地プランの実質化に向けて、円滑な話し合いに寄与する推進体制を構築する。
- ・ 集落等での話し合いを通じ、担い手への農地集積・集約化に向けた将来方針の策定を支援する。
- ・ 関係機関と連携して法人化に向けた合意形成を支援する。
- ・ 規模拡大等による経営発展を図るため、施設・労働力等の相互補完等の組織的連携を推進する。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 農地の集積・集約化の推進						地域農業改革支援事業
(7) 人・農地プラン実質化活動支援	人・農地プラン作成地区 ( 柏崎市12地区 刈羽村1地区 )	実質化プラン作成数	13 (1)	渡部	2月：聞き取り調査	農地集積・集約化対策事業
(4) 担い手間の話し合い促進と事業活用による農地集積・集約化	農地集積集約化意向地区 ( 柏崎市東条地区 柏崎市曾地地区 他 )	将来方針策定地区数	2 (0)	石本	2月：聞き取り調査	
イ 組織化・法人化等の推進						農業法人連携推進事業
(7) 法人設立に向けた合意形成	法人化意向者 ( 柏崎市曾地地区 柏崎市今熊地区 他 )	新規法人設立数	2 (4)	河村	2月：聞き取り調査	農業経営基盤強化促進対策推進事業
(4) 法人等連携方針策定に向けた合意形成	法人間連携意向法人 ( 柏崎市東部田尻地区 柏崎市南部高田地区 )	方針策定数	2 (0)	真貝	2月：聞き取り調査	

## 2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）

### (1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立

- ・ 関係機関等と連携し、異常気象等に対応した迅速かつ的確な情報提供と基本技術の徹底を図り、高品質良食味米を生産する。
- ・ 研究会を通じた情報提供と栽培指導により「新之助」の食味・品質を確保する。
- ・ 品種に応じた栽培管理を徹底し、充実した優良種子の生産を推進する。
- ・ 施肥改善による、「葉月みのり」の収量確保と品質向上を推進する。
- ・ 中山間地域での省力化・効率化技術の実証により、地域での導入を検討する。
- ・ 農業所得を向上するため、業務用米の多収穫におけるコスト低減を実践する。
- ・ 大豆の安定生産のための指導を行う。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
<b>ア 新潟米ブランド力の維持・強化</b>						
(7) 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産	管内米出荷生産者	コシヒカリ1等級比率 こしいぶき1等級比率	90% (9.4) 90% (7.9)	河村	12月：JA品質検査結果	新潟米生産対策推進費
(4) 「新之助」の高品質・安定生産	管内新之助研究会（2）	基準達成率	100% (91.2)	土田	2月：研究会検査等報告	「新之助」生産振興戦略推進事業費
(ウ) 高品質水稻種子生産技術指導	(農) 中鯖石種子生産組合	コシヒカリBL正種子率 新潟次郎の千粒重27g達成者数	100% (83) 1 (0)	河村	JAから聞き取り 12月生産物審査結果	
<b>イ 新品種やICT等の先進技術の導入</b>						
(7) 「葉月みのり」の生産拡大と高品質安定生産	管内葉月みのり生産者（59人）	収量510kg/10a以上生産者割合 1等級比率	80% (44) 90% (15.5)	中野	12月：JA集荷品質検査結果	新潟米生産対策推進費
(4) スマート農業技術の実装に向けた検討・普及	中山間地等直接支払制度取組集落	スマート農業機械の実装意向集落協定数	1 (-)	土田	12月：実証効果の確認	未来につなぐ中山間地域活性化支援事業 中山間地域等直接支払制度
<b>ウ 多収・低コスト栽培の推進</b>						新市場等に対応した「新潟米」生産対策強化事業
(7) 多収穫・低コスト技術の確立と普及	モデル経営体（2経営体）	生産費9,600円/60kgを達成する経営体数	2 (2)	河村	2月：経営体聞き取り	新技術等導入プロジェクト

	J A 柏崎業務用米部会 (43経営体)	業務用米栽培面積 基準単収+150kg達成農業者割合	150ha (138) 50% (一)		11月：JA 聞き取り	事業
エ 非主食米、大豆、麦等の生産拡大						新潟米生産対策推進費
(ア) 大豆安定生産指導	1ha以上生産者 (25人)	収量180kg以上生産者率	60% (40)	土田	1月：JA 検査実績	

(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大

- ・ ほ場整備を契機とした園芸生産の拡大と産地化を図るため、機械化一貫体系の導入や産地体制の整備を推進する。
- ・ 地域園芸重点品目の面積拡大と単収及び所得の向上を推進する。
- ・ 地域園芸振興プランの目標達成に向けて、市場等実需者との連携や関係機関が一体となった生産から販売までの一貫した指導・支援活動を行い、産地化への取組を推進する。
- ・ 稲作経営資源を活用した園芸の導入・取組拡大により、所得の向上を図る。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 生産の効率化による既存産地の拡大						園芸振興基本戦略推進総合対策事業
(ア) えだまめの単収向上等による生産拡大支援	J A 柏崎えだまめ生産部会 (18戸)	単収の向上	300kg /10a (246)	真貝	2月：JA 聞き取り 及び総 会等資料 確認	園芸産地化チャレンジ事業
(イ) たまねぎの単収向上等による生産拡大支援	J A 柏崎たまねぎ生産部会 (39戸)	J A 荷受単収3.5t以上の経営体数	8 (4)	中村 (敏)		園芸アタック応援事業
(ウ) 越後姫の品質向上等による産地支援	J A 柏崎越後姫生産部会 (4戸)	糖度Brix10%以上生産者数	4 (一)	真貝	8月：JA ・農家 聞き取り	大規模園芸産地創出事業
(エ) カリフラワー単収の向上等による生産拡大支援	J A 柏崎カリフラワー生産部会 20a以上栽培者 (6戸)	出荷量250箱以上の経営体数	4 (2)	燕	2月：JA 聞き取り	
(オ) かきの大玉安定生産技術支援	新道柿栽培組合 (62戸)	販売額の向上	10% (7)	橋本	1月：組 合聞き取 り	
イ 新たな大規模園芸産地の育成						
(ア) 機械化一貫体系の導入によるえだまめ生産拡大支援	J A 柏崎えだまめ生産部会 (18戸) ほ場整備完了地区農家	栽培面積拡大	24.0ha (20.6)	真貝	2月：JA 農家聞き 取り	

	ほ場整備施工地区農家 園芸導入意向農家 新規栽培者	園芸参入塾修了者数	13 (一)		
(イ) 既存生産者及び新規取組者への技術指導によるたまねぎ生産拡大支援	J A 柏崎たまねぎ生産部会 (39戸) 園芸導入意向農家 ほ場整備完了地区農家 ほ場整備施工地区農家	栽培面積拡大	13.1ha (9.8)	真貝	2月：JA農家聞き取り
(ウ) 稲作経営資源の利用による園芸導入の推進	稲作経営体	新規園芸導入・拡大する稲作経営体	12 (12)	真貝	3月：JA農家聞き取り

### (3) 収益性の高い畜産経営の育成

- ・ 畜産物の生産拡大と品質向上による経営安定に向け、飼養管理の技術改善を図る。
- ・ データを活用した課題把握と改善、飼養衛生管理基準の順守、良質な自給粗飼料の確保等による生産性向上を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値 (前年度)			
ア 飼養管理技術の改善、ICT技術の活用等による生産性向上						畜産担い手経営発展事業
(ア) 飼養管理技術の改善等による高位安定生産	酪農経営体 (2戸)	年間生乳出荷量	701t (700)	石本	2月：対象者に聞き取り	酪農経営生産性強化支援事業

### (4) 経営の多角化

- ・ 農業法人等の収益向上に向けて外部専門家等と連携し、多角化部門等の定着・拡大を支援する。さらに、経営データ等の分析による経営力向上を図る。
- ・ 就業者の定着に向け、農業法人等における就業環境の改善を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値 (前年度)			
ア 企画・販売力の強化						農業普及指導推進事業
(ア) 農業法人等の収益向上支援	売上や利益の向上を目指す農業法人等 (7経営体)	経常利益が前年より向上した経営体数	7 (3)	渡部	3月：対象者に聞き取り	

(5) 県産農産物のブランド力の向上

- ・ 基幹直売所を核とした園芸振興を推進し、地場産農産物の認知度向上と販売拡大を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 県園芸品目の認知度向上・販路開拓						園芸振興基本戦略推進総合対策事業
(7) 直売所の品揃えの確保に向けた生産安定指導	直売所利用組合員	地場産農産物販売金額	2.5億(2.4億)	中村(敏)	2月：JA直売所聞き取り	園芸産地化チャレンジ事業
		お盆需要期の花き販売額	200万(140万)	中村(正)		園芸アタック応援事業
						大規模園芸産地創出事業

(6) 環境と調和した農業生産と安全・安心な農産物の提供

- ・ 県産農産物の安全性と信頼性の確保に向け、経営体、産地等を対象にGAPの実践及び認証取得を推進し、作業の効率化や安全性の向上、販売力の強化による経営発展を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 国際的に通用するGAPの導入・実践						農業普及指導推進事業
(7) 国際的に通用するGAP等導入支援	GAP取得意向経営体	認証GAP新規取得経営体数	1(1)	土田	2月：状況確認	GAP実践からはじめる農業発展支援事業

### 3 中山間地域等の農業の維持（仕組みづくり）

#### （1）地域資源を活かした中山間地域等の振興と活性化

- 中山間地域への就農を希望する者に活躍の機会を提案するとともに、就農希望者と受入集落との関係の構築を支援する。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 中山間地域の営農継続に向けた人材・体制づくり						
(ア) 就農希望者等と集落の協力関係構築支援	中山間地域等直接支払制度取組集落	協力関係合意集落	1 (-)	中野	随時確認	未来につなぐ中山間地域活性化支援事業  中山間地域等直接支払制度

#### （2）野生鳥獣による農作物の被害防止

- 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組を支援する。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 総合的な野生鳥獣被害防止対策の推進						
(ア) 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組	被害防止対策に関心のある集落	集落診断の実施	1 (1)	燕	随時確認	農作物鳥獣害被害対策事業

### 第3 重点課題

#### 1 全県共通課題

基本課題				担当チーム及びリーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
<b>【販売額1億円産地を育成するための計画策定及び実践】</b>				
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）				柏崎地域園芸
(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大	イ 新たな大規模園芸産地の育成	(ア) 機械化一貫体系の導入によるえだまめ生産拡大支援	JA柏崎えだまめ生産部会 ほ場整備完了地区農家 ほ場整備施工地区農家 園芸導入意向農家 新規栽培者	推進チーム チームリーダー 小泉企画振興課長 サブリーダー 中村普及課長
		(イ) 既存生産者及び新規取組者への技術指導によるたまねぎ生産拡大	JA柏崎たまねぎ生産部会 園芸導入意向農家 ほ場整備完了地区農家 ほ場整備施工地区農家	
(5) 県産農産物のブランド力の向上	ア 県産園芸品目の認知度向上・販路開拓	(ア) 直売所の品揃えの確保に向けた生産安定指導	直売所利用組合員	

#### 2 地域課題

基本課題				担当チーム及びリーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
<b>【農地集積・集約化や法人間連携等による安定した地域農業構造の確立】</b>				経営構造改善
1 農業を担う人材の確保・育成（人づくり）				対策プロジェクトチーム
(3) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	ア 農地の集積・集約化の推進	(ア) 人・農地プラン実質化活動支援	人・農地プラン作成地区 〔柏崎市12地区〕 〔刈羽村1地区〕	チームリーダー 石本課長代理
		(イ) 担い手間の話し合い促進と事業活用による農地集積・集約化	農地集積集約化意向地区 〔柏崎市東条地区〕 〔柏崎市曾地地区〕	

	イ 組織化・法人化等の推進	(ア) 法人設立に向けた合意形成	法人化意向者 〔柏崎市菅地地区 柏崎市今熊地区〕
		(イ) 法人等連携方針策定に向けた合意形成	法人間連携意向法人 〔柏崎市東部田尻地区 柏崎市南部高田地区〕

基本課題				担当チーム及びリーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
<b>【柏崎・刈羽米の品質確保】</b>				柏崎・刈羽米品質向上チーム  チームリーダー 河村課長代理
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）				
(1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立	ア 新潟米ブランド力の維持・強化	(ア) 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」高品質・安定生産	管内米出荷生産者	



<p>2 課題</p> <p>(1) えだまめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷調整施設を最大限に利用できる生産計画の確立と品種構成の見直し</li> <li>実需のニーズを満たす生産拡大と品質・食味の高位安定化と平準化</li> <li>補助事業等を活用した資本整備支援による更なる受け手農家の確保・育成</li> </ul> <p>(2) たまねぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十分な所得を確保できるモデル農家の育成</li> <li>適期作業の実施に向けた効率的な農業機械等の運用</li> <li>出荷調整能力に応じた計画的な収穫体制の確立</li> </ul> <p>(3) 直売所農産物(野菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売額の増加に向けた品揃えと生産安定</li> </ul>	<p>&lt;活動スケジュール&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> <th>えだまめ</th> <th>たまねぎ</th> <th>直売農産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>園芸参入塾</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>推進チーム会議</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5月～9月</td> <td>中晩生品種比較実証ほの設置運営</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6月</td> <td>園芸参入塾</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収穫前指導</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>視察研修会(出荷調整ライン)</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>収穫指導</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>園芸参入塾</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>実績・反省検討会</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>課題整理及び次年度活動方針検討</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>12月～3月</td> <td>栽培歴の作成</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>モデル経営体の収益性把握</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>栽培期間中の現地指導</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 次年度以降の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推進チームの連携強化と情報共有の継続</li> <li>モデル経営体育成と高品質安定生産に向けた活動連携</li> <li>生産出荷用機械等の導入検討</li> </ul>	時期	内容	えだまめ	たまねぎ	直売農産物	4月	園芸参入塾	○			5月	推進チーム会議	○	○	○	5月～9月	中晩生品種比較実証ほの設置運営	○			6月	園芸参入塾	○			収穫前指導	○	○	○	視察研修会(出荷調整ライン)		○		ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会	○	○		7月	収穫指導	○	○	○	8月	ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会	○	○		11月	園芸参入塾	○			12月	実績・反省検討会	○	○	○	2月	課題整理及び次年度活動方針検討	○	○	○	12月～3月	栽培歴の作成	○	○		通年	モデル経営体の収益性把握	○	○		通年	栽培期間中の現地指導	○	○	○	
時期	内容	えだまめ	たまねぎ	直売農産物																																																																											
4月	園芸参入塾	○																																																																													
5月	推進チーム会議	○	○	○																																																																											
5月～9月	中晩生品種比較実証ほの設置運営	○																																																																													
6月	園芸参入塾	○																																																																													
	収穫前指導	○	○	○																																																																											
	視察研修会(出荷調整ライン)		○																																																																												
	ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会	○	○																																																																												
7月	収穫指導	○	○	○																																																																											
8月	ほ場整備地区への園芸導入啓発研修会	○	○																																																																												
11月	園芸参入塾	○																																																																													
12月	実績・反省検討会	○	○	○																																																																											
2月	課題整理及び次年度活動方針検討	○	○	○																																																																											
12月～3月	栽培歴の作成	○	○																																																																												
通年	モデル経営体の収益性把握	○	○																																																																												
通年	栽培期間中の現地指導	○	○	○																																																																											



令和2年度

重点課題取組計画

<p>柏崎・刈羽米の品質確保 ～異常気象による新潟米の被害を軽減するための技術対策の徹底～</p>	<p>柏崎地域振興局農林振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>	<p>山田副部長</p>	<p>柏崎・刈羽米の品質確保 ～異常気象による新潟米の被害を軽減するための技術対策の徹底～</p>
<p>柏崎・刈羽米の品質確保 ～異常気象による新潟米の被害を軽減するための技術対策の徹底～</p>	<p>総括担当者名 山田副部長</p>	<p>推進体制 (担当者名) 副総括 中村普及課長 チームリーダー 田中 浩二 チームメンバー 佐久間 俊博 佐久間 俊博 佐久間 俊博 佐久間 俊博 佐久間 俊博 佐久間 俊博 佐久間 俊博</p>	<p>柏崎・刈羽米の品質確保 ～異常気象による新潟米の被害を軽減するための技術対策の徹底～</p>
<p>基本課題 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>関連する事業</p>	<p>気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>
<p>◆現状分析と課題</p>	<p>◆指導対象と目標</p>	<p>◆具体的活動内容</p>	<p>◆現状分析と課題</p>
<p>1 現状分析 ・柏崎地域の「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から 「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から 「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から</p>	<p>1 指導対象 管内米出荷生産者</p>	<p>1 今年度の活動内容 (1) 3つの重点対策の周知、徹底 各種研修会や指導会を通じて周知するとともに、現地指導会において 品質向上に向けた指導と実践支援を行う。</p>	<p>1 現状分析 ・柏崎地域の「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から 「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から 「新潟米」管理指導体制の強化に向けてH23年から</p>
<p>2 目標 ※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p>	<p>2 目標 ※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p>	<p>2 目標 ※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p>	<p>2 目標 ※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p>
<p>3 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>3 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>3 具体的活動内容 ・活動体制の強化 ・新潟米管理指導員による情報収集と情報発信を強化する。 ・J A 普及指導員と中干し、穂肥指導会に目合わせを実施し、相互の生 育情報の把握、現地指導力の強化を図る。</p>	<p>3 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>
<p>4 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>4 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>4 具体的活動内容 ・品質向上実証は設置による効果確認 ・農業振興協議会での品質向上を目的とした実証ほの設置</p>	<p>4 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>
<p>5 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>5 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>5 具体的活動内容 ・情報提供の実施 ・稲作管理情報（生育調査時+随時必要に応じて）年9回 →H P 掲載、メールマガジン登録者、関係機関へのメール、ほ場看板やJ A 各 支店情報掲載への貼付、市、村、J A 支店、直売所等への配置</p>	<p>5 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>
<p>6 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>6 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>6 具体的活動内容 ・緊急時の情報伝達体制 →防災無線、ケーブල්テレビの活用、J A のTACによる大規模経営体 へに対する情報提供、 →活動スケジュール</p>	<p>6 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>
<p>7 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>7 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>7 具体的活動内容 ・情報提供の実施 ・稲作管理情報（生育調査時+随時必要に応じて）年9回 →H P 掲載、メールマガジン登録者、関係機関へのメール、ほ場看板やJ A 各 支店情報掲載への貼付、市、村、J A 支店、直売所等への配置</p>	<p>7 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>
<p>8 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>	<p>8 指導内容 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産</p>	<p>8 具体的活動内容 ・情報提供の実施 ・稲作管理情報（生育調査時+随時必要に応じて）年9回 →H P 掲載、メールマガジン登録者、関係機関へのメール、ほ場看板やJ A 各 支店情報掲載への貼付、市、村、J A 支店、直売所等への配置</p>	<p>8 現状分析 ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している ・管内の作付比率が低下している</p>

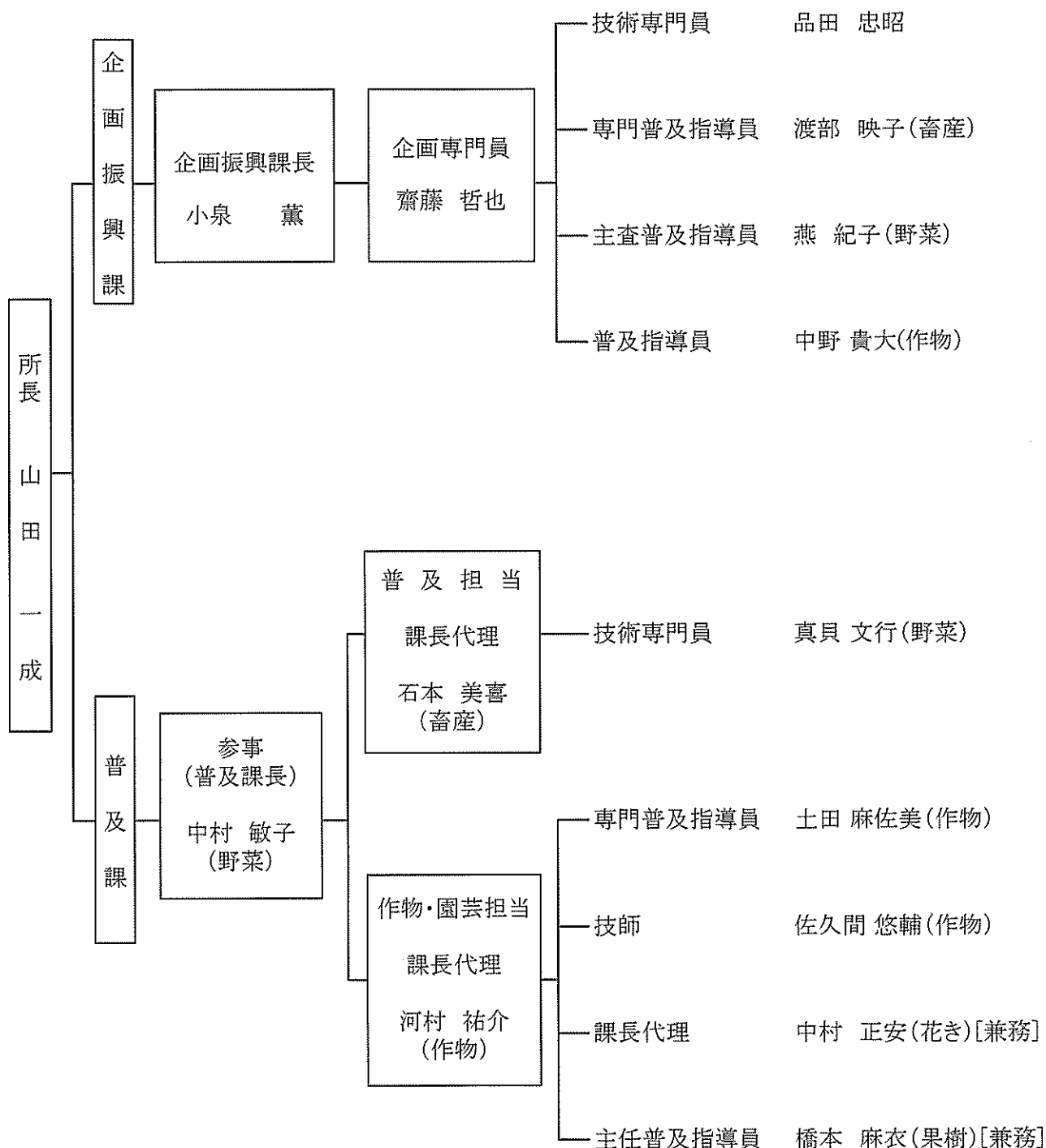
## 第4 課題体系及び指導対象





## 第5 活動体制及び業務分担表

### 1 組織及び活動体制



## 2 業務分担表

### (1) 企画振興課

担 当 事 務	主 任	副 任
1 企画振興課の総括に関する事項	小泉企画振興課長	齋藤企画専門員
2 構造政策に関する事項 ① 地域農業・農村の総合企画・推進に関する事項 ② 国・県事業の企画・調整に関する事項 ③ 国の経営構造対策、経営体支援事業等に関する事項	齋藤企画専門員	小泉企画振興課長
④ 農林・農地調整会議に関する事項 ⑤ 市村農業再生協議会の支援に関する事項	小泉企画振興課長	齋藤企画専門員
⑥ 経営基盤強化促進対策及び人・農地プラン等に関する事項 ⑦ 農地中間管理機構関連事業に関する事項 ⑧ 耕作放棄地対策に関する事項	渡部専門普及指導員	齋藤企画専門員
3 農業の担い手（農業人材）育成に関する事項 ① 意欲ある農業の担い手確保育成の企画・推進 ② 農業人材育成研修教育の実施（女性農業者の育成含む） ③ 新規就農者、新規参入者、農業法人就業者、定年就農者に対する指導助言及び情報提供 ④ 地域農業リーダー育成の企画・推進 ⑤ 新規就農・経営継承総合支援事業の企画、推進 ⑥ 関係機関、団体との連携・調整	中野普及指導員	渡部専門普及指導員
4 経営体の育成に関する事項 ① 経営体の育成に関する企画・推進 ② 農業生産の組織化・法人化に関する企画・推進 ③ 農業経営改善の企画・推進（女性の経営参画を含む） ④ 農業経営相談活動の企画・運営 ⑤ 農福連携の推進に関する企画・推進 ⑥ 制度資金の貸し付け及び計画的活用の企画・推進 ⑦ 外部専門家との連絡及び調整	渡部専門普及指導員	中野普及指導員
5 農業情報に関する事項 ① 普及情報の企画・推進 ② 地域農業情報活動の企画・運営及び情報機材の管理運営 ③ 農業普及情報システムの活用の企画・推進 ④ 情報関係推進事業の企画・調整 ⑤ 県民への情報提供	燕主査普及指導員	渡部専門普及指導員
6 中山間地域等の振興に関する事項 ① 中山間地域振興の企画・推進 ② 中山間直払制度に関する事項 ③ 都市農村交流に関する事項 ④ 地域戦略事業の推進に関する事項	齋藤企画専門員 渡部専門普及指導員 中野普及指導員	渡部専門普及指導員 齋藤企画専門員 齋藤企画専門員
7 農業災害に関する事項 ① 農林水産業被害報告に関する事項 ② 農業災害対策に関する事項	齋藤企画専門員	渡部専門普及指導員
8 農畜産物の生産振興に関する事項 ① 経営所得安定対策に関する事項 ② 主要作物の生産振興に関する事項 ③ 園芸の生産振興に関する事項 ④ 畜産の生産振興に関する事項 ⑤ 環境保全型農業の推進に関する事項 ⑥ 環境保全型農業直接支援対策に関する事項 ⑦ 新潟県特別栽培農産物認証制度に関する事項 ⑧ 農薬・土壌汚染等に関する事項 ⑨ 肥料の生産及び販売等に関する事項 ⑩ 鳥獣害対策に関する事項	品田技術専門員 燕主査普及指導員 品田技術専門員 中野普及指導員 品田技術専門員	齋藤企画専門員 齋藤企画専門員 燕主査普及指導員 品田技術専門員
9 食品の流通販売に関する事項 ① 食の安全・安心に関する事項 ② 地産地消の推進に関する事項 ③ 市場・流通関係に関する事項 ④ 食品産業との連携に関する事項	燕主査普及指導員	品田技術専門員
10 農林県単事業に関する事項	齋藤企画専門員	渡部専門普及指導員

(2) 普及課

担 当 事 務	主 任	副 任
1 普及課の総括に関する事項	中村普及課長	石本課長代理 河村課長代理
2 普及指導活動の実施に関する事項 ① 普及指導計画の樹立、進行管理及び活動の評価 ② 普及関係事業の企画・調整及び実施 ③ 市村担い手育成総合支援協議会等との連携及び企画・運営指導 ④ 全域及び市村農業改良会議の設置と運営 ⑤ 普及情報の収集と提供 ⑥ 診断室、実験室、作業室等の管理運営 ⑦ 農業普及指導センター指導力向上研修の企画、運営 ⑧ 調査研究活動の企画、運営 ⑨ 試験研究機関と連携した活動の企画、運営 ⑩ 農林・農地の調整に関する企画・連携	石本課長代理 真貝技術専門員 河村課長代理  石本課長代理 真貝技術専門員 土田専門普及指導員 真貝技術専門員 真貝技術専門員 中村普及課長 河村課長代理	真貝技術専門員 石本課長代理 石本課長代理  河村課長代理 佐久間技師 真貝技術専門員 石本課長代理 石本課長代理 石本課長代理 石本課長代理
3 農業経営及び農業技術の指導に関する事項 ① 専門項目の総括と活動調整 ② 作物の技術、経営に関する指導 ③ 野菜の技術、経営に関する指導 ④ 果樹の技術、経営に関する指導 ⑤ 花きの技術、経営に関する指導 ⑥ 畜産の技術、経営に関する指導 ⑦ 6次産業化（加工）の技術、経営に関する指導 ⑧ 農薬の適正使用・管理に関する指導 ⑨ 食の安全・安心確保に関する指導 ⑩ G A Pの普及推進に関する指導 ⑪ 農業関係補助事業を活用した経営改善に関する指導 ⑫ 制度資金を活用した経営改善に関する指導 ⑬ 農業災害に関する指導 ⑭ 病虫害防除に関する指導 ⑮ 鳥獣害対策に関する指導 ⑯ スマート農業推進に関する指導 ⑰ 展示ほ・実証ほに関する事項	中村普及課長 河村課長代理 真貝技術専門員 橋本主任普及指導員(兼務) 中村課長代理(兼務) 石本課長代理 石本課長代理 河村課長代理 土田専門普及指導員 土田専門普及指導員 真貝技術専門員 土田専門普及指導員 河村課長代理 河村課長代理 河村課長代理 土田専門普及指導員 土田専門普及指導員	河村課長代理 土田専門普及指導員 中村普及課長 中村普及課長 中村普及課長 中村普及課長 中村普及課長 真貝技術専門員 真貝技術専門員 河村課長代理 河村課長代理 河村課長代理 石本課長代理 真貝技術専門員 石本課長代理 真貝技術専門員 佐久間技師
4 農業の担い手及び経営体育成の指導に関する事項 ① 農業人材の確保育成指導 ② 経営体の育成指導 ③ 農業生産組織、農業法人の育成指導 ④ 農村女性等の起業化指導 ⑤ 農福連携に関する指導	土田専門普及指導員 石本課長代理 河村課長代理 石本課長代理 真貝技術専門員	真貝技術専門員 河村課長代理 石本課長代理 中村普及課長 石本課長代理
6 農業改良普及事業の事務補助に関する事項	猪爪職員	—

(兼務)：上越農業普及指導センターと兼務

## 第6 企画調整業務計画

区分	大項目	小項目	内容	時期(回数)
普及 企 画	1 普及指導計画の樹立及び進行管理	1 指導計画の樹立 2 活動計画検討表の進行管理実施	・計画樹立検討 ・チーム及び所内検討 ・所長・課長ヒアリング	1～3月(5回) 7・10・1・3月(4回) 5・10・1・3月(4回)
	2 普及関係推進事業の企画調整	1 事業推進の進行管理	・普及指導活動の調整 ・チーム検討	7・10・12・3月(4回) 7・10・12・3月(4回)
	3 農業改良会議の設置と運営	1 農業改良会議の開催	・全域農業改良会議 ・地域農業改良会議	4・10・3月(3回) 5月(市村各2回)
	4 職場研修の企画、運営	1 課題研修の企画と運営	・指導力向上研修 ・調査研究活動等	6・8・10月(3回) 4～3月
経 営 管 理	1 経営体育成指導等の企画・推進	1 経営体育成支援 2 農地集積・集約化の推進	・経営管理能力等の向上支援 ・人・農地プラン等の取組支援	4～3月 4～3月
	2 農業経営相談活動の企画・運営	1 経営改善指導	・経営診断・経営改善支援 ・組織化・法人化に向けた支援	4～3月 4～3月
	3 制度資金の計画的活用の企画・推進	1 制度資金活用支援	・資金活用による経営改善指導	4～3月
担 い 手 育 成	1 多様な農業担い手確保育成の企画・推進	1 担い手育成	・就農・雇用相談等 ・就農相談活動	4～3月 随時
	2 農業人材育成研修教育の実施	1 人材育成 2 事業推進	・ニュー農業塾・園芸参入塾等、研修会の開催 ・農業士等認定・育成 ・農業大学校との連携	4～3月 4～3月 随時
	3 関係機関・団体との連携・調整	1 連携・調整	・担い手対策協議会	5・12・3月(3回)
普 及 情 報	1 地域農業普及情報活動の企画・運営	1 現地情報の収集・管理 2 情報の収集管理	・センターだよりの発行 ・農業技術情報の発行 ・ホームページの管理	5・2月(2回) 4～3月 4～3月
	2 普及情報ネットワークシステムの活用推進	1 情報受発信機能の促進 2 情報提供	・ときいろネット・メールマガジンへの加入促進 ・現地情報の提供	4～3月 4～3月
	3 普及情報機材等の管理運営	1 共有情報等管理	・所内LAN・機材等の管理	4～3月

## 第7 普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表

課題名	実施者
「あきだわら」の多収穫・低コスト生産の実証	河村祐介
柏崎地域に適した中晩生えだまめの品種選定	真貝文行、山田一成、燕紀子、中村敏子
じよんのび鶏の飼養管理調査	石本美喜、渡部映子
「新之介」全量元肥の地域における適応・普及性の確認	土田麻佐美、中野貴大

## 第8 新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表

課題名	実施者

## 第9 普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる主要実証ほ一覧表

### 1 普及指導センターが普及指導計画に位置付け、実施する実証ほ等

事業名	期 間	対象	担当者	備考（内容）
特殊気象感応体制整備強化事業 調査ほ（水稲気応ほ）	R2.4.01 ～10.30	柏崎市春日	土田	水稲定期報告（コシヒカリBL）
	R2.4.01 ～10.30		土田	水稲定期報告（新之助）
地力保全測定診断事業 調査ほ	R2.4.01 ～10.30		土田	地力測定・地温測定
地域課題解決実証ほ コシヒカリ安定栽培展示ほ	R2.4.01 ～10.30	柏崎市堀	河村	コシヒカリ定点生育調査
地域課題解決実証ほ こしいぶき安定栽培展示ほ	R2.4.01 ～10.30	柏崎市春日	土田	こしいぶき定点生育調査
新技術等導入プロジェクト 事業	R2.4.01 ～3.3.5	柏崎市南条 刈羽村赤田北方	河村	多収性品種における低コスト・省力技術の確立（水稲）
新技術等導入プロジェクト 事業	R2.4.01 ～10.31	刈羽村刈羽	橋本	簡易雨よけ栽培による収量及び品質向上（ぶどう）
新技術等導入プロジェクト 事業	R2.5.01 ～10.31	柏崎市平井	真貝	マルチを利用した直播えだまめの作期拡大（えだまめ）
園芸産地課題解決技術実証ほ	R2.5.01 ～10.31	柏崎市矢田	真貝	えだまめ中晩生品種の選定
園芸作物技術情報システム 調査ほ	R2.5.01 ～10.31	柏崎市西山町内方	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム 調査ほ	R2.5.01 ～10.31	柏崎市西山町大津	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム 調査ほ	R2.5.01 ～10.31	柏崎市矢田	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム 調査ほ	R2.10.1 ～3.7.31	柏崎市畔屋	中村 (敏)	たまねぎ

### 2 普及指導センターが関わり支援する実証ほ等

実証ほ名	期 間	実施者	担当者	内容
農薬実証ほ	R2.4.01 ～10.30	(社)新潟県植物防疫協会	河村	水稲初中期一発除草剤
農薬実証ほ	R2.4.01 ～10.30	(社)新潟県植物防疫協会	河村	水稲初中期一発除草剤
普及展示ほ	R2.5.01 ～10.30	(社)新潟県農林公社	土田	水稲晩生用全量元肥肥料

